

① 労災書類を持参している場合

(ア) 問診票の記入(入力)を依頼する。

(イ) 保険証を確認する。

※ 保険証の仕様の有無に関わらず、正確にカルテを作成するためにも保険証の確認が必要。

※ 保険証を持参していない場合は、マイナンバーカードまた免許証で対応する。

(イ) 持参された労災書類に記載されている情報を確認し、必要な項目については医事コンピュータに入力する

- ・ 労災保険番号
- ・ 負傷又は発病年月日
- ・ 事業所の名称
- ・ 事業所の所在地

② 労災書類を持参していない場合

(ア) 問診票の記入(入力)を依頼する。

(イ) 保険証を確認する。

※ 保険証の仕様はできないが、正確にカルテを作成するためにも保険証の確認が必要であることを患者自身に説明した上で行う。

※ 保険証を持参していない場合は、マイナンバーカードまた免許証で対応する。

(ウ) 労災書類を持参されるまでは自費でお支払いいただき、後日、書類を持参された際に患者本人に返金を行うため、領収書を紛失しないよう伝える。

(4) 労災(職員の場合)

仕事上のけがや事故の場合、健康保険証を使用することはできないため、労災申請を行う。(ア)～(ウ)は労働者と事業主の間で行われ、書類への記入が完了したら、労災担当者は書類を預かり、請求手続きを行う。(受付手順については「(3) 労災(職員以外の方)」を参照。)

(ア) 労働者自ら院長または事務長へ事故の報告を行う。

(イ) 事故状況を確認した上で、経理課は労災書類を準備し、必要事項を記入する。(労働保険番号、事業所証明など)

(ウ) 労災書類の記入が済んだら労働者自身が必要事項を記入し、経理課へ提出する。

(3) 労災(職員以外の方)

仕事中のけがや事故の場合、健康保険証を使用することはできないため、労災申請していたき、該当する書類を提出していただくよう、説明を行う。

<受診時に必要な労災書類(一例)>

療養(補償)等給付たる療養の給付関係

(様式第 5 号)

療養補償給付及び複数事業労働者療養給付たる療養の給付請求書 業務災害用・複数業務要因災害用

→業務災害で負った傷病に対して初めて治療を行った労災指定医療機関が労災レセプト請求時に提出する。ただし、初めて治療を行った医療機関が労災指定医療機関以外の場合は当院から様式 5 号の提出が必要となる。

(様式第 6 号)

療養補償給付及び複数事業労働者療養給付たる療養の給付を受ける指定病院等(変更)届

→様式第 5 号を提出した医療機関から別の労災指定医療機関へ変更となった場合に提出が必要となる。

※様式 6 号は転医先に都度提出するものであり、当院の前に複数医療機関に受診していたとしても受け取ることは可能。

(様式第 16 号の 3)

療養給付たる療養の給付請求書 通勤災害用

→通勤災害に遭って初めて治療を行った労災指定医療機関が労災レセプト請求時に提出する。ただし、初めて治療を行った医療機関が労災指定医療機関以外の場合は当院から様式 16 号の 3 の提出が必要となる。

(様式第 16 号の 4)

療養給付たる療養の給付を受ける指定病院等(変更)届

→様式第 16 号の 3 を提出した医療機関から別の労災指定医療機関へ変更となった場合に提出が必要となる。

(エ) 受付担当者は経理課から労災書類を預かり、労災請求を行う。

(5) インフルエンザ予防接種(予約制)

インフルエンザの予防接種の助成対象者を確認した上で、受付を行う。

(ア) 接種対象者が来院したら対象種別(助成対象の有無)を確認した上で、「インフルエンザ予防接種予診票」を記入してもらう。

(イ) 問診票に記入漏れがないか確認し、体温を測る。確認の際は、保険証等で年齢及び住所に間違いがないか確認を行う。

(ウ) 受付後、基本スケジュールの中に問診票も一緒に入れる。

<助成対象者(令和5年度時点)>

- ① 接種日時点で65歳以上の方。
- ② 接種日時点で60歳以上65歳未満で、厚生労働省令で定める、心臓、腎臓若しくは呼吸器等の機能に極度の障害(身体障害者1級相当)を有する方。

基本的に、65歳未満は自己負担があり、65歳以上の人は助成対象となる。また、60歳から65歳未満の人で、心臓、腎臓、呼吸器の機能障害か、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害で身体障害者手帳1級の人にも助成対象となるが、これらの人は接種時に、身体障害者手帳の提示が必要となる。

※ 60歳から65歳未満の人で、心臓、腎臓、呼吸器の機能障害か、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害で身体障害者手帳1級の人には、身体障害者手帳の提示が必要。

※ インフルエンザ予防接種で、接種費用の助成対象者のうち、非課税世帯(世帯全員が市町村民税を課税されていない世帯)か生活保護世帯の人は、自己負担額が免除されるため、予防接種を受ける際に、下記の証明書類(1から4のいずれか)を持参されるため、確認を行う。

1. 介護保険負担限度額認定証(市町村民税非課税世帯の人)
2. 後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証(市町村民税非課税世帯の人)
3. 予防接種用の証明書(市町村民税非課税世帯の人)
4. 診療依頼書又は保護受給証明書(福祉課発行)(生活保護世帯の人)

※ インフルエンザの予防接種は年度や市区町村によって助成金額が異なる場合があるため、年度ごとに確認が必要となる。(詳細はさいたま市 HP 参照：
<https://www.city.saitama.jp/002/001/014/006/002/p038237.html>)

(6) 肺炎球菌予防接種(予約制)

肺炎球菌予防接種の助成対象者を確認した上で、受付を行う。

(ア) 接種対象者が来院したら問診票の記入を行う。

(イ) 問診票に記入漏れがないか確認し、体温を測る。確認の際は保険証などで年齢、住所などに間違いがないか確認する。

(ウ) 受付後、基本スケジュールの中に問診票も一緒に入れる。

＜接種後＞

(エ) 初めての接種の場合：助成対象者のため、さいたま市から郵送される書類提示で 4,600 円(さいたま市)の支払い。

2 回目以降の場合：助成対象外のため 8,800 円(当院価格)の支払い。

(オ) 院内で 30 分待機後、帰宅

基本的には 65 歳になる人から始まり、5 年毎に定期接種となるが、60 歳から 65 歳未満の人で、心臓、腎臓、呼吸器の機能障害か、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害で身体障害者手帳 1 級の人にも対象となる。これらの人は接種時に、身体障害者手帳の提示が必要となる。

※ 60 歳から 65 歳未満の人で、心臓、腎臓、呼吸器の機能障害か、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能障害で身体障害者手帳 1 級の人には、身体障害者手帳の提示していただき問診票に記入してもらう。

※ 高齢者の肺炎球菌予防接種で、接種費用の助成対象者のうち、非課税世帯(世帯全員が市町村民税を課税されていない世帯)か生活保護世帯の人は、自己負担額が免除されるため、予防接種を受ける際に、下記の証明書類(1 から 4 のいずれか)を持参される。(接種時に持参していない場合は、自己負担が免除されない)

1. 介護保険負担限度額認定証(市町村民税非課税世帯の人)
2. 後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証(市町村民税非課税世帯の人)
3. 予防接種用の証明書(市町村民税非課税世帯の人)
4. 診療依頼書又は保護受給証明書(福祉課発行)(生活保護世帯の人)

※ 肺炎球菌予防接種は年度によって公費助成で接種できる対象者が決まっているため、本年度助成対象者であるか確認する。(詳細はさいたま市 HP 参照：<https://www.city.saitama.jp/002/001/014/006/002/p037333.html>)

① 保険会社一括対応の場合

(ア) 問診票の記入(入力)を依頼する。

(イ) 保険証を確認する。

※ 保険証の仕様の有無に関わらず、正確にカルテを作成するためにも保険証の確認が必要。

※ 保険証を持参していない場合は、マイナンバーカードまた免許証で対応する。

(ウ) 保険会社と担当者名を確認する。事前に保険会社から当院へ連絡が入っていない場合は、連絡していただくよう促す。

(エ) 支払方法について確認する。

※ 保険会社一括対応の場合は、基本的に保険会社へ直接請求するが、診断書(警察提出用)以外や私病の治療などについては患者負担が発生することについて説明する。

330円
かかる

※ 保険証を使用した場合、原則、自己負担金額は患者自身が診察の都度、窓口で支払う。

※ 保険証を使用した場合、自身の加入している健康保険組合等に届出が必要な場合があることを説明する。(健保併用の場合、保険請求時にはレセプト特記事項に「10 第三」を表示する)

(オ) 「同意書兼誓約書」を記載して頂く。書類 1 枚渡す。

② 支払方法が未定または患者自身が支払う場合

(ア) 問診票の記入(入力)を依頼する。

(イ) 保険証を確認する。

※ 保険証の仕様の有無に関わらず、正確にカルテを作成するためにも保険証の確認が必要。

※ 保険証を持参していない場合は、マイナンバーカードまた免許証で対応する。

(ウ) 支払方法を確認する

基本的に保険会社より一括対応の連絡がない限り、自費で患者本人が窓口支払いを行う。後日、保険会社より一括対応の連絡があった場合には患者本人に返金を行うため、領収書を紛失しないよう伝える。

※ 任意保険に未加入の場合や過失割合など、事故の状況によって、保険会社が介入しない場合は患者自身が交通事故に係る申請等を行う。

※ その場合、健康保険証を使用するか否かは患者自身が選択する。

(エ) 「同意書兼誓約書」を記載して頂く。書類 2 枚渡す。

問

事故
痛い
新
日必ず
支払
て
もら
う

02-2 受付

受付方法は「新患または初診(以下、「初診」)」か「再診」だけでなく、保険種別によっても対応が異なる。

1. 保険証をお持ちの方

※ マニュアル「02-1 受付業務の流れ」を参照

2. 保険証をお持ちでない方、保険証を使用しない方

※ 下記を確認の上、マニュアル「02-1 受付業務の流れ」を参照

(1) 生活保護(医療扶助)

生活保護の方が初めて受診する場合は、受給証または医療券を確認する。

① 受給証または医療券を持参している場合

(ア) 初診時または6ヶ月以上来院がない場合、前回と症状が違う場合に問診票の記入(入力)を依頼する。

(イ) 医療券の氏名・住所・生年月日・承認期間等を確認し、受給証の両面をスキャンし、HOPEへ取り込みを行う。

② 受給証または医療券を持参していない場合

(ア) 初診時または6ヶ月以上来院がない場合、前回と症状が違う場合に問診票の記入(入力)を依頼する。

(イ) 福祉事務所等へ医療扶助か否か確認の連絡を行う。

(ウ) 医療扶助の場合、診療予定であることを伝え医療券を送付いただくよう依頼する。

(2) 交通事故

交通事故による受診の場合、事故の状況を確認し、請求先を明確にする必要がある。また、交通事故であっても工作中的の事故であれば、労災保険が優先される場合があるため、受付の時点で状況を十分に確認する必要がある。

2. 再診受付

「再診」とは2回目以降に受診する方で、初診以外の方を指す。

＜再診受付の流れ＞

- ① 受付において、診察券を提示してもらう。月初めの場合は保険証の提示もして頂く。
 - ※ 診察券を忘れた方については保険証を提出して頂き氏名を確認する。保険証も持参されていなかった場合は、氏名(フルネーム)、生年月日を確認し患者メモへ保険証忘れていることを入力し、計算担当者へ申送する
- ② 来院時伝達事項や特記事項がないか医事システムの確認行う。
- ③ 6ヶ月以上来院のない患者(再診も含む)には、「問診票」を記入してもらう。
- ④ 受付後の基本スケジュールに「問診表記入中」、「会計あり・なし」、「保険証確認ができないため自費」など注意事項を記入する。
 - (ア) 聞き取りした症状
 - (イ) 症状が変わったなどの理由で問診票記入がある方は、「問診票あり」と入力
- ⑤ 保険証が変更になっている場合、保険証と一緒にダブルチェックを行う。
- ⑥ その際、住所、電話番号に変更がないかも確認。変更がある場合は、「問診票」上部のみ患者自身に記入してもらい、医事コンピュータの登録を変更する。
- ⑦ 入力後、問診票と保険証とを合わせてダブルチェックへ回す。ダブルチェック担当者は、登録画面だけでなく、保険証と問診票に記載された内容に相違がないかについても確認を行う。
- ⑧ 受付時に体温測定をし診察希望の科を確認して用紙へ記入し基本スケジュールと同じファイルに入れる。
 - ※ 診察予約は慌てることなく、受付を行ったら「順番にお呼び致しますので、おかけになってお待ちください」と促し、電子カルテは待合室に留めておく。
 - ※ リハビリ予約の場合、時間厳守であるため予約時間に間に合うように優先的に対応する。

3. 当日のスケジュール

当日の基本スケジュール表はクリアファイルに入れて職員が管理する。

患者様には受付票にスケジュールが記載されているので受付票を確認してもらう。

基本スケジュールを入れるファイルの色によって対応が変化します。

- 赤: 緊急を要する患者様の対応
- 黄: 初診・久しぶりの来院

- 緑:健康診断で直接所定の用紙に直接結果を記載する場合。

＜クリアファイルの流れ＞

- ① 患者来院後、受付
- ② クリアファイルに基本スケジュールと診察券を入れて職員が診察室へ運ぶ
- ③ 診察等終了後、Ns又は事務職員がファイル持ってきて会計入力待機のかごへ入れる
- ④ 計算、会計処理を行う
- ⑤ 患者を窓口へ呼び出し、処方箋・診察券をお渡りする。

4. 感染症等への配慮

感染症等が拡大している時期においては下記を追加し、対応を行う。

- イ) 風症状の患者様は発熱外来での対応となるため、問診をして予約を取る。直接窓口へお越しの場合は予約状況によっては一度ご帰宅いただくか車の中で待機していただく場合があります。
- ロ) 各種消毒の徹底(椅子、机、トイレのノブ、紐、ペンなど)

02-3 計算

計算とは診療終了後に行う当日の診療費を計算する業務のことを指す。

1. 診察等が終了した方の基本スケジュールを看護師又は事務が取りに行く。

2. 会計画面に入力

- ① HOPE外来会計を選択
- ② 患者 ID を入力する
- ③ オーダーの取り込みを行い、治療内容の確認を行う
 - ＜注意点＞
 - ※ 初診、再診に誤りはないか
 - ※ 加算に漏れはないか
 - ※ 回数制限のある検査等でコメント入力が必要な場合、入力しているか
 - ※ 電子カルテを開いて、オーダー・未実施・カルテに記載されていてオーダーされていないものなどの確認
 - ※ 指導内容等の記載漏れはないか
 - ※ 処方箋等の訂正箇所には訂正印またはサインがあるか
 - ※ 手書き処方箋などHOPEへ手入力する
- ④ F8 押してエラー確認・もう一度F8 押して金額確定F12 で請求を確定する

02-4 会計

会計とは会計窓口で診療費の授受や処方箋の受け渡し等を行う業務のことを指す。

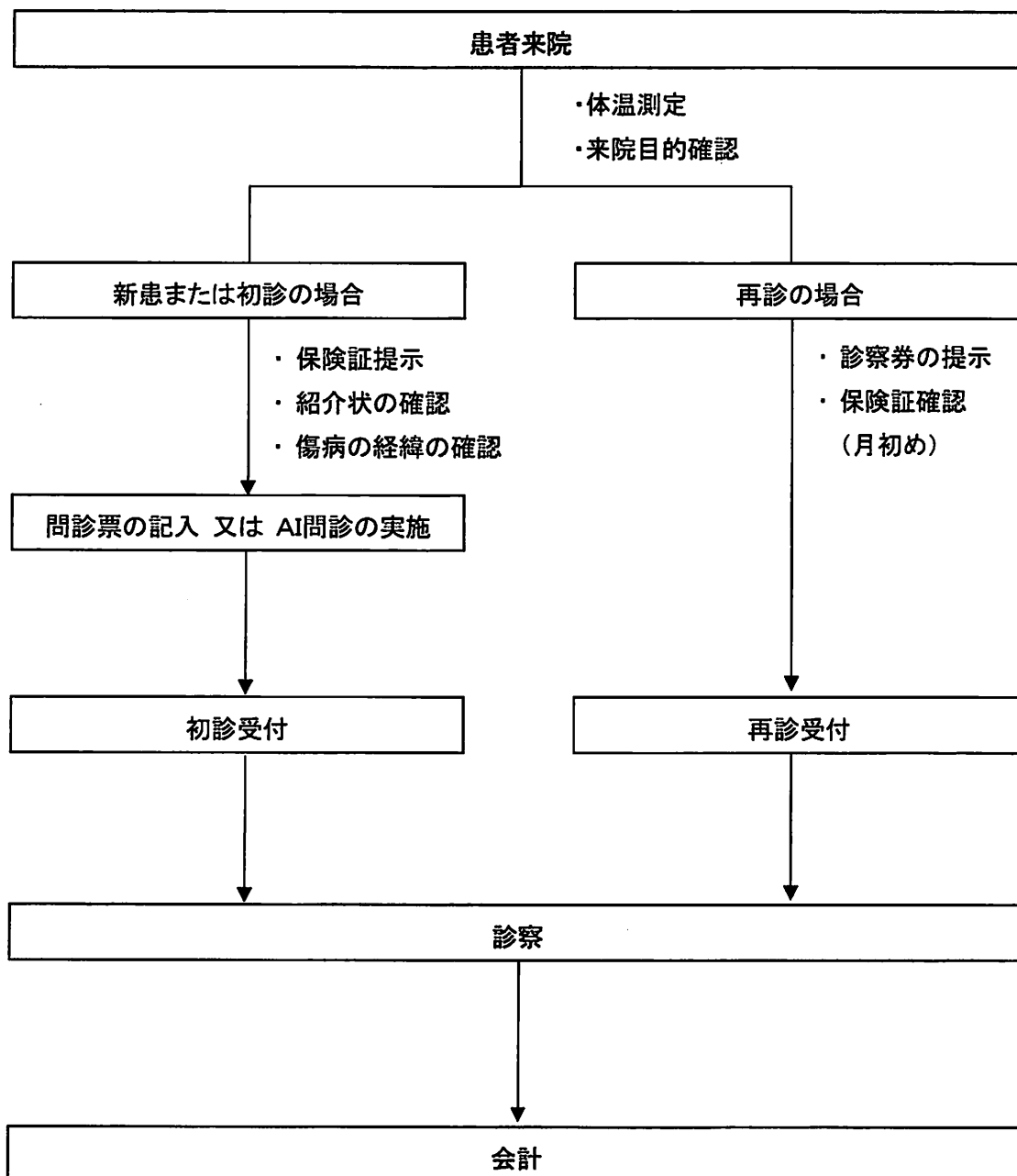
1. 計算終了後、処方箋をもとに患者を呼び出す
2. 処方箋・書類などについて説明を行い、自動精算機へ案内する。

＜注意点＞

- ※ 請求書、診療明細書、処方箋、診察券に間違いがないことを先に確認した上で、患者の呼び出しを行う
 - ※ 口頭だけではなく、請求書氏名を指さしながら本人確認をする
 - ※ 未納・追加・返金がある場合は、POSへ案内する
3. 未収金が発生した場合は誓約書に記載して頂く。
 - ※ 詳細は「04-1_未収金発生の流れ」を確認

02-1 受付業務の流れ

患者来院後の流れは、「新患または初診（以下、「初診」）」か「再診」によって、業務の流れが多少異なる。初診時には患者情報の登録を行うが、これはカルテ作成や診療報酬請求を行う上で重要な役割であり、正確かつ最新情報の登録が求められる。



※受付前に再来機が設置された場合は変更となる場合があります。

1. 新患または初診受付

ここでの「新患」とは、当院へはじめて来院する患者のことで、患者番号が付与されていない患者のことを指す。「初診」とは診療報酬上の「初診料」の定義に沿った患者のことを指す。

<新患または初診受付の流れ>

- ① 保険証を預かり「問診票」へ記入してもらう。
 - ※ 交通事故、仕事中のけが(労災)については受付対応が異なるため、詳細は「06 交通事故」「07 労災」マニュアルを参照
- ② 新患登録をする前に、医事コンピュータに生年月日を入力し受診履歴(患者 ID)がどうか確認する。
 - ※ 氏名変更の場合、新規登録はせず既存の患者 ID を使用し、カルテの氏名を変更する
- ③ 患者IDを取り、「問診票」及び保険証を確認しながら、患者情報を入力し医事システム画面をハードコピーする。
- ④ 受付機で受付し、基本スケジュール表をポケット付きクリアファイルへ入れる。初診患者については黄色いクリアファイルを挟む。
- ⑤ 入力後、問診票と保険証とを合わせてダブルチェックへ回す。ダブルチェック担当者は、登録画面だけでなく、保険証と問診票に記載された内容に相違がないかについても確認を行う。
- ⑥ 診察券を発行し、次回より受付時に提示してもらうよう説明する。
- ⑦ 診察券紛失については、再発行料 200 円で再発行可能。
 - ※ 本人申し出あれば再発行を行うが、紛失していた診察券が見つかるなど、複数枚ある場合は 1 枚返却してもらうよう説明する。
 - ※ ご家族が持つための複数枚発行は基本的にはお断りするが、事情がある場合にはこの限りではない。
- ⑧ 基本スケジュールを入れたファイルのポケットに診察券をいれて外来へファイルを持っていく。(この際に保険証と受付票を患者様へお渡し、診察券は清算前に返却する旨を伝える。)

<紹介状を持参されている場合>

- ・ 受付で紹介状を預かり、スキャンを行う。
- ・ スキャン後に書類裏面の右下に済印を押し、基本スケジュールと一緒にファイルへ入れて外来へ持っていく。

さいたま市特定健診及び各種癌検診を受けられる方へ

さいたま市は40歳は無料

健診予約日時: / () : 頃

特定健診 【問診・身体測定・採血・心電図など】 無料

採血検査等がある為、朝食は食べず、飲み物も水かお茶のみにして下さい。
今年度40歳になられる方は肝炎検査が実施出来ます。

前立腺癌 【採血検査】 男性のみ 2年に一度 50歳~80歳 ¥600

50歳以上80歳までの男性で前年度未受診の方のみ。

治療の人は出来ない...

骨粗鬆症 【手レントゲン】 2年に一回 40歳お金のかけ子 ¥400

今年度40・45歳と、50~80歳で前年度検査していない女性のみ。

肺がん検診 【胸部レントゲン】 ¥600

喫煙状況によって喀痰検査が受けられます。追加費用は300円掛かります。
今年度65才以上になられる方は費用が無料になります。

大腸がん検診 【検便検査】 ¥400

便は2日間（連日でなくても可）に渡って専用容器に採取して下さい。

胃がん検診 【胃バリウムもしくは胃カメラ検査】 ¥1000

レントゲンor バリウム検査前日夜9:00以降は食事をしないで、当日は水分も控えて
来院して下さい。胃カメラ検査は予約時に説明をお聞き下さい。

さとう笑み 女性

男性

2年に一回

乳がん検診 【触診・マンモグラフィー】 ¥1000

前年度未受診の方のみ

触診のみは費用300円。希望の方は同意書に記入が必要です。

- 注意点
- ①検査当日は特定健診受診券・受診のご案内ハガキを必ずお持ち下さい
 - ②健診の受け易い服装で来院して下さい。
(ストッキング・タイツ・ボディスーツ・貴金属類等は着用不可)
 - ③70歳以上の方は検診費用が全て無料です。

医療法人社団弘象会 東和病院
さいたま市緑区東浦和7-6-1
048-873-8621

3 6 [区分] ☐ 特定
健診 ☒ 国保
健診 ☒ 国保
ドック ☒ 健康
増進 ☐ 保険証確認

バーコードシール番号
無印方は記入不要

- 正しい時 → ☒ はい
間違え = 時 → ☒ はい

記入例

重 kg 腰囲 cm 正位 最高

1+ 2+ 3+ 尿 糖 一 二 1+ 2+

常なし 診 療 生活習慣病 の治療中 生活習慣病 によって要医療

正 常 用 所 見 あり 貧 血 実施 眼 底 実施 異常あり

記 入 不要

さいたま市【特定・国保・国保ドック・健康増進】健康診査健診票(提出用)

36

【区分】

特定
健診

国保
健診

国保
ドック

健康
増進

保険証確認

健診日 20 24 年 月 日 性別 男 女

受診券
番号

生年
月日 大正 昭和 平成 年 月 日

電話
番号 336 - 0926 - 0000

住所
(カナ) サイタマシ ミトリクヒカ シウラ 数字部分 7-6-1

カナ氏名 姓 トウワ 名 サッロウ

氏名 姓 東和 名 三郎

バーコードシール番号
国保人間ドック
バーコードラベル
貼付位置
黒い方は記入不要

- 現在の体調についておたずねします。具合の悪いところがありますか。 ☐ あり
- 右のうち、現在服用している薬はありますか。
 - ① 血圧を下げる薬 ☒ はい
 - ② 血糖を下げる薬又はインスリン注射 ☐ はい
 - ③ コレステロールや中性脂肪を下げる薬 ☐ はい
- 次のうち、現在、あるいは過去に治療を受けている病気はありますか。
 - ① 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) ☒ あり
 - ② 心臓病(狭心症・心筋梗塞等) ☐ あり
 - ③ 慢性腎臓病や腎不全(人工透析) ☐ あり
 - ④ 貧血 ☐ あり
- 生活習慣
 - ① 20歳の時から体重が10kg以上増加していますか。 ☐ はい
 - ② 1回30分以上の軽く汗をかく運動を週2回以上、1年以上実施していますか。 ☒ はい
 - ③ 日常生活において、歩行又は同等の身体活動を1日1時間以上実施していますか。 ☒ はい
 - ④ ほぼ同じ年齢の同性と比較して、歩く速度が速いですか。 ☐ はい
 - ⑤ 食事をするときかみにくいことはありますか。 ☐ ほとんどかめない
 - ⑥ 人と比較して、食べる速度が速いですか(普通の場合は、記入不要です)。 ☒ 速い ☐ 遅い
 - ⑦ 就寝前の2時間以内に夕食をとることが週3回以上ありますか。 ☐ はい
 - ⑧ 朝昼夕の3食以外に間食や甘い飲み物を摂取していますか。 ☒ 毎日する ☐ 時々
 - ⑨ 朝食を抜くことが週に3回以上ありますか。 ☐ はい
- 現在、たばこを習慣的に(「生涯で6か月間以上、又は合計100本以上吸っていて」、さらに最近1か月)吸っていますか。 ☐ はい ☐ 以前は吸って、最近1か月はない
- お酒(日本酒・焼酎・ビール・洋酒等)は飲みますか。
(※「やめた」とは、過去に月1回以上の習慣的な飲酒歴があったが、最近1年以上酒類を摂取していない場合)
☐ 毎日 ☐ 週5~6日 ☐ 週3~4日 ☐ 週1~2日 ☒ 月に1~3日 ☐ 月に1日未満 ☐ やめた

上記で飲むと答えた方は、飲酒日の飲酒量はどの程度ですか。※日本酒1合(180ml)の目安:ビール500ml・焼酎25度(110ml)・ウイスキーダブル1杯(60ml)・ワイン2杯(240ml)・缶チューハイ5度(500ml)、7度(350ml)

☐ 1合未満 ☒ 1~2合未満 ☐ 2~3合未満 ☐ 3~5合未満 ☐ 5合以上

- 睡眠で休養が十分とれていますか。 ☐ はい
- 運動や食生活等の生活習慣を改善してみようと思いませんか。 ☐ はい(6か月以内に改善予定) ☐ はい(1か月以内に改善予定) ☐ すでに改善(改善して6か月未満) ☐ すでに改善(改善して6か月以上)
- 生活習慣の改善について、これまでに特定保健指導を受けたことがありますか。 ☐ はい

身長 体重 kg 腹囲 cm 血圧 最高 / 最低

尿蛋白 尿糖 尿検査依頼

打聴診 異常あり 異常なし 診察 生活習慣病の治療中 生活習慣病で要医療

心電図 実施 未実施 正常範囲 所見あり 貧血 実施 眼底 実施 異常あり 異常なし 判定中

心電図所見 その他

記入例

正しい時 → ☒ はい
間違えの時 → ☒ はい

記入不要

さいたま市特定健診及び各種癌検診を受けられる方へ

703113 はい 半年に1回 → 検査あり

健診予約日時: / () : 頃

特定健診 【問診・身体測定・採血・心電図など】 無料

採血検査等がある為、朝食は食わず、飲み物も水かお茶のみにして下さい。
今年度40歳になられる方は肝炎検査が実施出来ます。

前立腺癌 【採血検査】 ￥600

50歳以上80歳までの男性で前年度未受診の方のみ。

骨粗鬆症 【手レントゲン】 ￥400

今年度40・45歳と、50～80歳で前年度検査していない女性のみ。

肺がん検診 【胸部レントゲン】 ￥600

喫煙状況によって喀痰検査が受けられます。追加費用は300円掛かります。
今年度65才以上になられる方は費用が無料になります。

大腸がん検診 【検便検査】 (期間) ￥400

便は2日間(連日でなくても可)に渡って専用容器に採取して下さい。便志をたて
便秘 (週1回以上)に2日でも 正しい検査の数値 検診全て受けてから。

胃がん検診 【胃バリウムもしくは胃カメラ検査】 ￥1000

バリウム検査前日夜9:00以降は食事をしないで、当日は水分も控えて
来院して下さい。胃カメラ検査は予約時に説明をお聞き下さい。

乳がん検診 【触診・マンモグラフィー】 ￥1000

前年度未受診の方のみ

触診のみは費用300円。希望の方は同意書に記入が必要です。

注意点 ①検査当日は特定健診受診券・受診のご案内ハガキを必ずお持ち下さい

②健診の受け易い服装で来院して下さい。

(ストッキング・タイツ・ボディスーツ・貴金属類等は着用不可)

③70歳以上の方は検診費用が全て無料です。

医療法人社団弘象会 東和病院

さいたま市緑区東浦和7-6-1

048-873-8621

国保

さいたま市の検診チェック一覧

検診日 / /

ID	カナ			生年月日	年齢
					歳
特定健診検査	項目	基本	確認		無料
	尿検査	○	✓	渡しだちチェック	
	診察	○			
	血圧	○			
	身長・体重	○			
	腹囲	○			
	心電図	○			
	採血				
	血算				
社会保険	診察券コピー			要確認	

大腸癌検診	検便検査	受け付け 耳ボラチェック	✓
-------	------	-----------------	---

前立腺癌	採血		
------	----	--	--

肝炎ウイルス	採血			無料
--------	----	--	--	----

肺癌検診	①胸部X-P			600円
	②結核プラス		今年度65歳以上	無料
	喀痰プラス			追加 300円

※①②のどちらか確認 ②は昭和34年3月31日以前生まれの方

胃癌検診	胃バリウム			1,000円
	胃カメラ			1,000円

乳癌検診	触診			300円
	マンモ			1,000円

骨粗鬆症	手X-P		45・50～80歳	400円
			40歳	400円

※今年度40歳の方骨粗鬆症以外検査代が無料 (S58.4月～S59.3月生まれ)

精算あり	<input type="checkbox"/>
精算なし	<input type="checkbox"/>

結果お知らせ配布	<input type="checkbox"/>
----------	--------------------------

確認欄

受付	看護部

98281

98285

98277

98278

98279

98280

98282

98283

98284

お名前

さいたま市の検診チェック一覧

後期
検診日 / /

ID	カナ			生年月日	年齢
					歳
後期 高齢 健診	項目	基本	確認		無料
	尿検査	○	✓	渡したラベル7	
	診察	○			
	血圧	○			
	身長・体重	○			
	腹囲	○			
	心電図				
	採血				
	血算				

大腸癌検診	検便検査		✓		無料
-------	------	--	---	--	----

前立腺癌	採血			50～80歳前年未受診	無料
------	----	--	--	-------------	----

肝炎ウイルス	採血				無料
--------	----	--	--	--	----

肺癌検診	①胸部X-P				無料
	②結核プラス			今年度65歳以上	無料
	喀痰プラス				追加 300円

※②は昭和34年3月31日以前生まれの方

胃癌検診	胃バリウム				無料
	胃カメラ				無料

乳癌検診	触診				無料
	マンモ				無料

骨粗鬆症	手X-P			45・50～80歳	無料
------	------	--	--	-----------	----

精算あり	<input type="checkbox"/>
精算なし	<input type="checkbox"/>

結果お知らせ配布	<input type="checkbox"/>
----------	--------------------------

確認欄

受付	看護部